

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

「平成27年度の中高一貫教育」について



えりも地区連携型中高一貫教育推進委員長
(北海道えりも高等学校長)

益田昇悟

えりも町の皆様には、日頃より、中高一貫教育にご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「えりも地区連携型中高一貫教育」は平成十六年度にスタートし、今年度、十二年目を迎えております。

これまで、両校では、中高一貫教育を進めるにあたり、『学力向上』『キャリア教育』『環境教育』『特別活動』という四つの柱を立て、中高の六年間を見通した学習指導・進路指導・生徒指導に計画的・継続的に取り組む中、成果と課題を検証し、より良い連携の在り方を模索しながら学校の活性化を図ってまいりました。

また、「地域の子は地域でしっかりと教え育む」というえりも町の教育行政の方針のもと、「えりも町学校教育研究会」や「えりも町教育向上対策委員会」等を中心に、小・中・高が連携し、地域が一体となる中で、学びの連続性を重視した取り組みも進んでいるところです。

地域で育った子供たちが、いったん育った地を離れても再びふるさとに戻り、地域を担い、貢献できる人間を育成することが地域の学校としての使命であり、学校が元気になることが地域の活性化にとって必要不可欠なことではないかと考えております。

今年度も、ここ、えりもの地で学ぶ子供たち一人一人の健やかな成長や夢の実現に向けて、両校の教職員一同力を尽くし、取組の充実を図ってまいりますので、皆様のご支援を重ねてお願い申し上げます。

学力向上に向けた各教科の取組

えりも中学校とえりも高校間で行われている中高一貫教育推進事業では、「えりもの子」達の学力向上を軸として、学校間の授業交流を柱とする種々の取組を行っております。十二年目を迎える今年度はさらに各教科での取組を充実させ、「えりもの子」達の学力向上を図ってまいります。紙面の都合で一部とはなりますが、各教科部会での取組の概要を紹介いたします。

【国語部会】今年度で中高一貫漢字学習を6年間取り組んだ学年が高校を卒業します。6年間の取り組みと、漢字学習開始以前の学年との比較を通じて、次年度以降へ向けた検討を行います。また、高校教員による乗り入れ授業も実施し、中学生の学力テストや高校入試対策を行います。(島)

【理科部会】課題テスト(高校)や授業中での小テスト(中学)などで、基礎的な計算力、化学式などの定着をはかります。また、中高教員によるティームティーチングの授業を中学校で実施します。(大竹)

【数学部会】今年度は高校教員が中学3年の授業を週2時間担当し、習熟度別展開授業を通じて、数学力向上を図ります。また、高校の学習への接続を意識し、中3生に対し履修内容のまとめ学習を中高教員によるティームティーチングで行います。苦手分野の分析と、その克服を図ります。(前川)

【保健体育部会】中高生の体力向上を狙いとして、中1から高3まで新体力テストを実施しています。新体力テストの結果を分析し、各学年の体力課題を明確にし、体力向上に取り組めます。(田畑)

【社会科・地歴公民科部会】今年度も年3回のコンクールを実施し、基礎学力及び学習意欲の向上を図ります。また、環境教育「百人浜に学ぶ」を通し、環境問題に関する意識向上を目指します。(伊藤(麻))

【英語部会】昨年度に引き続き、今年度も高校教員が中学校の授業を週2時間担当し、ティームティーチングや少人数指導などを通じて、基礎力の向上を図ります。また、年3回実施する中高合同英検を通して、英語学習への意欲喚起を図ります。(芳賀)

平成27年度の中学校の取組について

えりも中学校では、今年度から3年生の授業において週2回えりも高校の数学科の先生が来校し、習熟度に分けた授業を行っています。また、昨年度から引き続き英語科の先生が来校し、週1～2回授業を行っています。3学期には国語などの教科においても高校の先生が来校し、進学後もスムーズに学習に取り組めるようつなぎ学習を行う予定です。

学習の他に部活動においては、練習や試合などを通して交流を図っています。

今年度の主な中高連携の取組の予定について、右に掲載いたしましたが、他にも各教科でコンクールや検定などの実施を予定しています。

今回は百人浜に学ぶ植樹体験の講演会とフィールド学習についてお伝えします。

今年度の主な予定

- | | |
|-----|--|
| 4月 | 中高シラバス作成
保護者向けキャリア教育説明会 |
| 6月 | 環境教育…百人浜に学ぶ教科学習・講演会・百人浜に学ぶフィールド学習A(植樹体験)<中2> |
| 8月 | 職業別ガイダンス<中3> |
| 9月 | 中高授業交流(～11月) |
| 10月 | えりも高校1日体験入学<中2>
キャリア教育と高校生活についてのガイダンス<中2> |
| 12月 | 高校3年生による高校生活と進路決定についての講話<中3> |
| 2月 | つなぎ学習<中3> |

【百人浜に学ぶ植樹体験の講演会】

6月15日(月)、2年生が5,6時間目の授業において、えりも緑化研究会OBの飯田鉄造さんと日高南部森林管理署えりも治山事業所治山技術官の佐藤可菜さんを講師としてお招きして、百人浜に学ぶ植樹体験の講演会を開催いたしました。

飯田さんは緑化事業の歴史に触れる中で、「社会のために貢献すること」「人を思いやり、助け合う心をもつこと」「何事もあきらめないうで希望を持ち続けること」の3つを大切にしてほしいということをお話しされました。

生徒は「昔の苦勞があつてこそ今の今があると感じ、とてもありがたく思いました」「今のえりも岬は昔の人々が努力して豊かなものになっていると思うと尊敬します。もっと大事にしないといけないと思いました」と先人の苦勞や努力に感謝する気持ちを感想として述べていました。

【百人浜に学ぶフィールド学習A】

6月22日(月)、2年生の生徒が植樹を行いました。前半は、えりも町林業総合センターに行き、植樹をするうえで土台となるカミネッコンの製作をしました。生徒たちは施設の方々の話にしっかり耳を傾け、段ボールを用いて班ごとで協力し、カミネッコンを組み立てていました。

後半は百人浜へ行き、カミネッコンに苗木を入れ、土に埋める作業を行いました。名前と苗木への想いを金属のプレートに刻み、苗木が育つように想いを込めてプレートを付けていました。

生徒達からは、次に自分の植えた苗木に会える2年後を楽しみにしている様子が見えがえしました。



映像を見ながら緑化事業の説明を聞いている様子



百人浜での植樹体験の様子